

第18回「地方発！ベンチャー企業ミートアップ」登壇企業紹介

1. CO2システムズ株式会社 (法人番号4410001010358)

代表者	代表取締役 山崎 啓二
所在地	神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階i-702
設立	2014年2月
事業概要	ウルトラファインバブル混合装置を基盤とした、炭酸次亜水製造装置と人工炭酸泉製造装置の開発、販売。多機能水の研究、開発。
企業URL	http://www.co2systems.co.jp/
プレゼンテーマ	無電源の多機能型混合装置の活用事例とウルトラファインバブルの可能性&ビジネスプラン
プレゼン概要	昨年より、経済産業省がウルトラファインバブルの研究実施と国際標準化を進めている。当社の基盤技術である「多機能型混合装置」は、無電源で水と気体をウルトラファインバブル（以下、UFB）まで混合することが可能である。 この技術を活用して、UFB炭酸水で次亜塩素酸ナトリウムを希釈する「無電源弱酸性除菌水装置」により、除菌、消臭、洗浄をより安全、安価で確実に行うことが可能となる。 血管拡張作用が認められている「高濃度人工炭酸泉」は医療、健康、美容に有効とされており、当社製品は高濃度の炭酸ガス含有が証明され、UFB炭酸泉としても実証されている。 今後は高濃度酸素水、窒素水、オゾン水などの研究開発を進めていく。
PR事項	前職の医療機器メーカー在職時、「多機能型混合装置」を考案し、ウルトラファインバブルの可能性に着目して、「人工炭酸泉製造装置」と「弱酸性次亜塩素酸除菌水装置」の開発と販売を目指し起業。 ・高濃度人工炭酸泉製造装置「CO2SPA」 かながわビジネスオーディション2016 「神奈川県中小企業診断協会賞」受賞 ・弱酸性次亜塩素酸除菌水装置「除菌革命」 かながわビジネスオーディション2017 「フロンティア技術賞」受賞 ・平成26年度補正予算、小規模事業者持続化補助金 採択 ・平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金 採択 ・「滅菌水製造装置」：国内特許取得済み、PCT国際出願中 ・「多機能型混合装置」：特許出願中
期待事項	販路拡大、医療機器メーカー・厨房機器メーカーなどとの業務提携、資金調達

2. インテリジェント・サーフェス株式会社 (法人番号6040001095253)

代表者	代表取締役 切通 義弘
所在地	千葉県柏市柏の葉5-4-19 東大柏ベンチャープラザ305
設立	2016年5月
事業概要	当社では、MPCポリマーの合成及び製品基材へのコーティングを手掛けている。 医療用途においては、対象となる基材は小型であることから、当社にてコーティングまで手掛けることで、付加価値化と技術ノウハウの蓄積を図る。 一方の工業用途においては、水処理設備や住設など、コーティング対象が大型であることが予想されるため、当社では基本的にMPCポリマーの合成及び溶液販売のみを手掛け、前処理やコーティングは外部パートナー企業への委託、ライセンスアウトを計画する。
企業URL	http://intelligent-surfaces.co.jp/
プレゼンテーマ	生体模倣技術を駆使した革新的機能性材料の開発
プレゼン概要	当社は、生体模倣技術を駆使した革新的機能素材であるMPCポリマー合成技術、および同ポリマーの新たな固定化（コーティング）技術を有している。 当社が開発するMPCポリマーは、ステンレスやガラス、アルミなどの汎用素材にコーティング可能なことから、医療機器にとどまらず、住宅設備や食品・飲料工場における、工業用素材表面の防汚性やメンテナンスなどの課題を解決に導き、日々の生活に大きく寄与する機能を有している。 本事業においては、MPCポリマーの当初の適用対象である医療機器の中から、まず歯列矯正用器材を取り上げ、これまで歯列矯正患者や矯正歯科医が抱えていたペインを解決する。
PR事項	2013年12月：JST 大学発新産業創出プログラム（START事業）採択 課題名：シリコーンハイドロゲルを起点とした医療機器表面の改質／研究代表者：石原 一彦（東京大学）／事業プロモーターユニット代表実施機関：野村ホールディングス株式会社 2016年5月：会社設立 2016年7月：ひまわりベンチャー育成基金平成28年度上期採択 2016年8月：第4回ディーブテックグランプリ ロート賞受賞 2016年9月：日本政策金融公庫 資本金ローン（2,000万円）融資 2017年3月：ものづくり補助金採択 2017年6月：ちば中小企業元気づくり基金採択
期待事項	資金調達、販路拡大、業務提携

3. 株式会社ア・ファン (法人番号8040001057037)

代表者	代表取締役 乗松 伸幸
所在地	千葉県習志野市本大久保5-9-13 4F
設立	2011年7月
事業概要	AIBO (ソニー株式会社が1999年6月より発売した人工知能を搭載した犬型ロボット)と業務用電気・電子機器及び家電製品(オーディオ・ビデオのビンテージモデルを含む)の修理メンテナンス事業。2016年からコミュニケーションロボットを活用した介護ビジネスに参入。
企業URL	http://a-fun.biz/
プレゼンテーマ	独居高齢者の見守りツールと情報伝達システムの構築
プレゼン概要	中国杭州市に本社を置くAMY Robotics社のコミュニケーションロボット“AMY ROBOT”(英語・中国語対応)をベースに、日本語対応システムの開発を行い、当該ロボットを活用して、独居高齢者とケアマネ・医師・公的機関へのスムーズな連絡機能を構築する。現状の“AMY ROBOT”には独居高齢者の見守り対話アプリが搭載されておらず、新たにAIを駆使したアプリを搭載する。本事業推進にあたり、今まで当社ロボットセラピー事業に協力を頂いてきた筑波学院大学、拓殖大学、AIBOソフトウェア開発者、DOCOMOスマートフォン開発者等と連携し、アプリケーションを構築、独居高齢者により安心安全な生活の場を提供する。
PR事項	2011年会社設立以来、元ソニーの技術者集団を中心に、お客様とエンジニアが直接対話する事により品質の高い修理サービスを提供してきた。2014年よりソニーの犬型ロボットAIBOの修理事業を開始。NHKや大手新聞等メディアから取り上げられたこともあり、多くのお客様から大きな反響を頂き、AIBOのセラピー効果をつぶさに感じるようになった。現在、「アイボドック」という会員制サービスを提供中。又、筑波学院大学等とロボットセラピー分野の共同研究を行い、平成28～29年度にかけて日本医療研究開発機構(AMED)・厚生労働省の介護用コミュニケーションロボットを活用した実証実験事業を請負った。今回のプレゼンでは、“AMY ROBOT”の実機も披露する。
期待事項	業務提携

4. 日本ハラールスタンダード株式会社 (法人番号9290003006494)

代表者	代表取締役 豊福 将泰 (発表者: 副社長 岡田 秀臣)
所在地	福岡県福岡市早良区百道浜3-8-33 福岡システムLSI総合開発センター3階
設立	2016年5月合同会社として設立 (2017年5月に株式会社へ変更)
事業概要	トレーサビリティシステム及びトレーサビリティボックスの研究・開発・販売
企業URL	http://jhalals.jp
プレゼンテーマ	イスラム圏へのハラール対応トレーサビリティ物流システム
プレゼン概要	今まで非イスラム圏からの輸出時に多くの規制があったイスラム圏への物流を劇的に変える物流ソリューション。物理的なシールドとセキュリティに加えトレーサビリティ管理を行う事で、コンタミネーションを防止しイスラム圏でのハラール物流を非イスラム圏から箱単位で行う事が可能。商品数量や品種等、企業の大きさの壁を取り除き、自由度の高い貿易を可能にする。また、ハラールだけでなくオーガニックやグルテンフリー・アレルギー対応・医薬品等のトレーサビリティ管理を行う事で、物流の促進及び高付加価値を生み出すシステムである。
PR事項	ハラール認証機関、一般社団法人JHUAのハラール認証サポート(コンサルティング)会社として2016年5月に合同会社として設立、2017年5月に株式会社へ変更。 ・マレーシア政府基準局(DSM)よりマレーシアスタンダード(MS規格)の使用許可を取得(日本で唯一) ・マレーシア内閣府よりハラールボックスの開発及び推進に関するサポートレターを貰う ・住友商事九州/麻生商事と業務提携
期待事項	資金調達、販路拡大、業務提携